

## 社団法人日本動物学会平成 23 年度第 1 回理事会議事録

日時：平成 23 年 2 月 5 日（土）13:00～16:30

場所：北海道大学東京オフィス（東京都千代田区丸の内 1 丁目 7-12）

出席者：理事 17 名（長濱、寺北、植木、小泉、高橋（孝）、岡、内山、高橋（純）、飯田、浅見、竹井、松島、筒井、赤坂、真行寺、中村、玉手）

事務局：永井

開会にあたり、長濱会長（以下、会長）より、出席者 17 名で定足数を満たしており、理事会が成立していることが述べられた。次いで配布資料の確認を行い、役員名簿の誤記載（理事の所属機関）が訂正された。会長が議長を務め、議事録署名人として玉手庶務幹事、寺北会計幹事を指名することが提案され、了承された。

議事に先立ち、公認会計士の藤田久登氏から、配布資料 1-1、1-2 に基づき、公益社団法人化に関する、1) 公益目的事業比率、2) 会費収入、3) 支部決算、などについての説明があった後、質疑応答を行った。また、藤田氏から申請期間の最終年度は遅滞が予想されるので、それ以前に申請できるように準備を進めたほうがよいと助言があった。

### 1. 報告事項

#### (1) 会長報告

会長から、今年の総会で方向付けされた公益社団法人化を実現するための準備を本年 9 月の総会までに終えたいので、協力願いたい旨が述べられた。

#### (2) 広報委員会報告

植木広報担当理事から、配布資料 2 に基づき、1) 2011 年度の体制、2) 2010 年度の活動、3) 2011 年度の活動方針、について説明があった後、質疑応答を行った。また、会長より、英語版 HP や Wiki については植木理事の原案どおりに進めてほしい旨が述べられた。

#### (3) 生物科学学会連合（生科連）報告

真行寺動物学推進担当理事から、生科連の、1) 構成学会（26 学会）、2) 運営委員の構成（浅島誠代表、宮島篤前代表、長濱嘉孝副代表、福田裕穂副代表、入江賢児運営委員）、3) 2010 年度決算と 2011 年度予算案の審議と承認、4) 構成学会の公益社団法人化に向けての活動の状況、5) 会費改定、6) 最先端・次世代研究開発支援プログラム決定の遅延に対する提言、などについて説明があった後、質疑応答を行った。

#### (4) 自然史学会連合報告・男女共同参画報告

##### ① 自然史学会連合主催の講演会について

玉手庶務担当理事（中村動物学推進担当理事の代理）から、自然史学会連合主催の講

演会が11月28日に開催された旨の報告があり、資料が回覧された。

② 男女共同参画の推進体制について

会長から、本学会の男女共同参画推進体制に関する説明があった後、本学会の男女共同参画委員会の委員長を日下部岳広会員（甲南大学）をお願いしたい旨が述べられた。また、配布資料3に基づき、質疑応答と意見交換を行った。

(5) その他

① 第82回大会の準備状況について

高橋（孝）理事（北海道支部長）から、資料4に基づき、第82回大会（旭川）の準備状況について、1）大会期間（9月21日から23日の3日間）、2）発表形式（すべてポスター発表）、3）シンポジウム、関連集会、公募シンポジウムの申し込みの締め切り日（3月1日）、4）印刷（杏林社）、について説明があった後、質疑応答と意見交換を行った。

② 国際動物学会会議について

会長から、次々回の国際動物学会会議（2016年開催）を日本で開催するための準備を筒井国際動物学会会議担当理事を中心として行ってほしい旨が述べられた。また、2016年の開催国は来年9月のイスラエルでの会議で決定される予定である旨が説明された。

③ 将来計画について

高橋（孝）理事から、動物学教育賞の選考規程（案）について説明があった後、質疑応答を行った。

④ 出版事業と学会図書について

会長から、今期の活動について、小泉図書担当理事に検討願いたい旨の発言があった後、小泉理事から動物解剖図や用語集などについてWGをつくり検討を開始したい旨が述べられた。

2. 審議事項

(1) 平成22年度事業報告

玉手庶務担当理事から、資料5に基づき、平成22年度事業について説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

(2) 平成22年度決算報告

寺北会計担当理事から、資料6に基づき、平成22年度の決算について説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

(3) 動物学教育賞について

浅見将来計画担当理事から、「報告事項5その他」において高橋（孝）理事から説明があった動物学教育賞選考規定について、資料8に基づき追加説明があった後、質疑応答と意見交換を行った。また会長から、動物学教育賞受賞候補者の募集に向けての文書の

作成を高橋（孝）理事に依頼したい旨が述べられた。

（４）公益社団法人化について

会長から、資料 7 に基づき、学会の公益社団法人化に向けての準備状況についての説明があった後、先にメールにより会員に送られた「動物学会の公益社団法人化について（会長からのお願い）」に対する会員からの意見やコメントを支部毎に説明願いたい旨が述べられた。次いで、各支部長から説明があった後、質疑応答を行った。全体として、学会の公益社団法人化の方向性は再確認されるとともに、今後、開かれた議論の基に公益法人化に向けての具体的な検討を進めるべきであるとの意見が多かった。他には、公益法人化された後のデメリットに対する懸念（北海道支部）や支部活動のあり方（中国・四国支部）についての意見があった。

以上、定款 30 条の規定により、議長および議事録署名人により以上の議事を認め、署名する。

平成 23 年 2 月 5 日

議長                    長濱 嘉孝  
議事録署名人   玉手 英利  
議事録署名人   寺北 明久